

OSHI MIYAZAKI  
AJI HIGASHI  
TTO  
MIYOSHI  
AJI I  
TT

アートリイの藝  
2017  
12.24 SUN  
2018  
3.25 SUN

かじさんとおと・みよし展  
西脇市岡之山美術館  
公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団  
NISHIWAKI OKANUYAMA MUSEUM OF ART

アートの生まれるところ  
東山嘉事 おとと 宮崎みよし



西脇市岡之山美術館は、3人の現代美術家、東山嘉事、おとと、宮崎みよしのアートの仕事場と作品の魅力を紹介する展覧会を開催します。

東山嘉事(1934～2006年)は、フムフム族というユニークな想像上の生き物たちとの交感をさまざまに表現して注目を浴び、自然豊かな兵庫県三田市藍本に仕事場を構えて制作しました。「かじさん」という名で子供から大人まで世代をこえて親しまれ、その作品は多くの人々の共感を呼び起こし、若い作家に影響を与えました。

おとと(1959年～)は木彫から出発し、偶然かじさんに出会います。ある公募展受賞を知ったかじさんが好奇心からおととの自宅を訪ねて交流が始まりました。着て遊べる木彫りの彫刻《KIFUKU》や3D立体写真など、さまざまな立体とイメージを制作しています。

宮崎みよしは、はやくから木彫やドローイングに取り組み、生まれ育った神戸のまちと文化、アートをつなぐNPO法人リ・フォープ代表として活動しています。ギャラリー&カフェ「プラネット Earth」には、かじさんの代表作《モーモーモー》が展示されています。

本展は、東山嘉事の作品とアトリエの魅力を紹介するとともに、かじさんと最も親しかったおととと宮崎みよしによる最近作及び新作をそれぞれのアトリエや創作現場の雰囲気とあわせて紹介します。

- 1 《東山嘉事アトリエ：平行法の立体写真》撮影：おとと
  - 2、6 《東山嘉事アトリエ》
  - 3 宮崎みよし(ライン～風～)2015年、段ボール・ボールペン・鉛筆・木片・紙片・コラージュ。作家蔵
  - 4 おとと《愛心装置 螺旋版》2017年、割り杉・混合技法、作家蔵
  - 5 おとと《愛心装置 仮面耳》2017年、割り杉・混合技法、作家蔵
  - 7 東山嘉事《「フム・フム・シリーズ」より》制作年不明、絵具・紙、個人蔵
- 表作品 東山嘉事《最後の晩餐シリーズ》制作年不明、ミクストメディア・板、東山とし子氏蔵



【関連事業】

■ギャラリートーク「かじさんと私」

かじさんの想い出と自身の作品について語ります。  
おとと(美術家)×宮崎みよし(美術家、NPO法人リ・フォープ代表)×山崎均(当館客員キュレーター、神戸芸術工科大学教授)

日 時：2018年3月3日(土) 午後2時～  
会 場：本館ギャラリー  
参加費：無料(入館料要)  
お問合せ：西脇市岡之山美術館(0795-23-6223)



2017年12月24日(日)～2018年3月25日(日)

開館時間：午前10時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)と祝日の翌日

※年末年始12月29日(金)～2018年1月3日(水)

入館料：大人 310円(260円) ※()内20名以上の団体割引料金

高大生 210円(160円) ※障がい者割引有

小中生 110円(80円) ※ココロカード利用可

主 催：西脇市岡之山美術館(〔公財〕西脇市文化・スポーツ振興財団)

協 力：西脇市来住紙器工業株式会社、プラネット EarthH、

神戸芸術工科大学山崎均研究室

公益財団法人 西脇市文化・スポーツ振興財団

西脇市岡之山美術館

NISHIWAKI OKANUYAMA MUSEUM OF ART

【アクセス】

電 車：JR 加古川線「日本へそ公園」駅前

バ ス：大阪・三宮から神姫バス(西脇行き)

「西脇(アビカ)」からタクシー 10分

自動車：中国自動車道・滝野社ICから15分

〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町345-1

東経135度北緯35度交差点日本へそ公園内

TEL/FAX：0795-23-6223

E-mail：okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp

http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/

